

# ワクチン3回目日本格化

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が1日、埼玉県内でも本格化した。県内自治体で集団接種会場が相次ぎ開設され、65歳未満の一般市民の接種も始まった。ただ、感染力が極めて強い新たな変異型「オミクロン型」による感染爆発のさなかということもあり、市民からは「もっと接種を進めてほしい」との声も聞かれた。

同県戸田市の戸田中央総合病院では1日、大規模接種センターが開設され、ワクチンの3回目接種が始まった。初日となった同日は約1000人が予約し、医師の問診後、接種を受けた。70代女性は「(接種券が来たら)すぐやりたいと思っていたので、早く打てて良かった」。20代女性は「80代の祖母と同居していることもあり、早く打ちたかった」といふ。

## 県内自治体 交互相種や会場拡充

同会場では米モデルナ社製のワクチンを使用しており、同日接種を受けた人の大半が1、2回目は米ファイザー社製だったとみられる。「交互相種」について70代女性は「少し心配だったが、みんな打っているので大丈夫かなと思っていた」。同日会場を視察した菅原文仁市長は「モデルナの効果は高いと発表されている。安心して予約し、積極的に接種してほしい」と呼び掛けた。

さいたま市でも1日、個別医療機関で一般市民への接種



戸田中央総合病院に開設された新型コロナウイルスの接種センター(1日、埼玉県戸田市)

を開始するなど、3回目接種が本格化した。集団接種会場も拡充し、1日はイオン大宮西店など新たに4カ所の会場を開設。15日までに市内10区にそれぞれ1カ所ずつ設ける。さいたま市は高齢者に限らず全年齢層に対して2回目接種からの接種間隔を6カ月前に前倒ししており、希望者が早めに打てる体制を整える。

一方、県も1日、さいたま市浦和区の県浦和合同庁舎内に3回目接種向けの集団接種センターを再開設した。ワクチンはモデルナ社製で、接種券がある県民なら誰でも接種可能。1日千人程度の接種を予定する。

同日接種を受けたさいたま市大宮区の60代男性は「市の接種よりも県のセンターの方が早く予約できそうだと思います。接種券が来てすぐに申し込んだ。オミクロン型が猛威を振るっているので、もっと早く接種を進めてほしい」と話した。